

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時、立地を考慮に入れ避難場所やハザードマップの確認を行っている。有事の際の施設としての具体的な行動は話し合っているが御家族との連絡、協力、連携体制の整備は十分とは言えず今後、機会を設け意見を交換する必要がある。	防災訓練は今後も継続的に行い対応の精度を向上させていく。また地域、行政との連絡を密にし正確な情報収集に努めていく。それらを基に御家族様と話す機会を設け意見を頂き安心安全な対応が取れるよう努めていく。	定期的に訓練を行い疑問や不安を感じる点は逐一解決していく。使用できるネットワークやサービスを事前にリサーチし有効に活用する。家族会や懇親会等を利用し話し合いを行い施設としての方針と御家族の意向を融合させた対応に努める。	6ヶ月
2	49	車椅子・シルバーカーの利用の方が多くなり、施設単体の力では日常的な外出支援は難しくなっている。施設外部の資源を利用する等して出掛ける機会を増やし個々の満足度を向上していけないものか。	様々な関わりある資源の中で常にアンテナを立て積極的に情報収集を行い行動範囲を広げていく。大がかりな外出だけに目を向けるのではなくちよつとしたふれあいや気分転換が持つ意義を再確認する。	地域包括、運営推進会議、ボランティアの方々等と情報交換を行い参加出来そうな催しやイベントを確認する。現状を伝え外出の持つ意義、重要性を発信し協力を仰いでいく。ユニットを超え職員が協力し施設として外出支援を考えていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。